今年も開催!

オレンジフェスティバル

~認知症になってもさすけねる伊達市を目指して~

9月21日 ②に伊達市ふるさと会館で開催された「伊達市オレンジフェスティバル」。今や高齢者の3人に1人が 認知症または軽度認知障害といわれる時代です。 当日は約800人の来場者を迎え、昨年に引き続き映画上映や監 督講演、パネル展示、認知症ケア支援 VR 体験、健康チェックコーナーなどを通じて、認知症への理解を深めました。

問 高齢福祉課地域包括ケア推進係 ☎ 575-1125







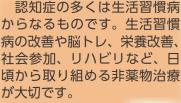




生きていれば誰しも認知症 になる可能性があります。風邪 を引いたら熱が出るのと同じで 認知症になったら物忘れをし ます。それを正すのではなく"寄 り添う"ことが大切です。

保原地域 包括支援センター 森美樹さん





認知症サポート医 桑名俊光先生



介護される人はみんなに迷 惑をかけていると気に病んで しまいます。そう思わせない ようにするためにも介護する 側の人がご機嫌でいることが 大事です。また、介護サービ スやご近所さんなど、甘えら れるところをたくさん作って -人で抱え込まないことも大 切です。



信友直子さん



パネル层







認知症サポーター養成講座の開催

認知症についての基本的な知識を身に付け、 普段の生活の中で、「身近な理解者」「見守りの 担い手」になってくださる人を広く募集します。

- □ 11 月 27 日承 13 時 30 分~ 15 時 申し込みは 11月 20日承まで
- 陽 霊山福祉センター 茶臼の里 児童室
- **申** 電話でお申し込みください。
- ¥無料
- 問 霊山月舘地域包括支援センター **586-1323**



来場者の声

なかなかあのようなご夫婦 にはなれないと思います。 ご主人の優しさもあり、と てもすばらしいご夫婦で感 動しました。

今後のためになるすばらし い映画でした。 認知症になってもあのご夫

婦のようになりたいと思い ました。

涙無くしては見られない家 族愛の物語でいろいろ考え るきっかけになりました。

地域の人も素晴らしく、生 きるための知識になりまし た。この映画で認知症が怖 くなくなりました。